



岩本橋のこいのぼり

撮影：山田吉勝

憲法九条を身近な問題として

今回初めてビキニデーに参加しました。今まで“ビキニデー”が何なのか全く知らず、親や職場の上司に聞いて“ビキニ環礁で行われたアメリカによる水爆実験で、日本のマグロ漁船「第五福竜丸」が被爆した日”であることを知りました。実際に三日間参加して、被爆国日本に対する世界各国からの平和を求める生の声を聞き、また、同じ年代の若者が自ら立ち上がって、核廃絶のために毎日懸命に署名活動を行っていることも知りました。私たちは、実際に戦争を経験された被爆者の体験談を直接伺う事はできるけれど、今後、私たちがどのような戦争や核の恐ろしさを確実に次の世代に継承していくのか、もっと考えていく必要があると思いました。今でこそ平和な世の中だけど、それは戦争や核の被害にあった方たちが、“戦争はいけない、核は世界から廃絶しなければならぬ”と、自らの体験談を語りながら訴え続け、憲法九条を守ってきたからです。三度に及ぶ核の被害を受け、核の恐ろしさを身を持って知っている日本人が、憲法九条を改悪し戦争を行う国にしようとしている事に対し、もっと身近な問題として危機感を持たなければならないと感じました。今回、ビキニデーに参加したことで、私は自分の知識の無さ、そして平和への関心の低さを改めて感じました。今の日本が平和なのは“当たり前のこと”ではなく、自分たちで守っていかなければならないものだと強く思いました。

医療社会科 古庄 和美

ピラミッド型からの転換を

横倉先生を招いて 「地域の医療連携」学ぶ

3月19日の午後7時から米の山病院で、ヨコクラ病院院長の横倉先生（県医師会長）を講師にお招きして学習会を行いました。この学習会は親仁会の医師を中心に行っているもので、昨年の12月（講師：西村先生・大牟田医師会長）に続き、今回2回目となりました。今後、この学習会に地域の先生方をお招きして、交流を深めていきたいと考えています。



講演をされる横倉先生

今回の講演内容は、2008年度から始まる新医療計画における医療供給システムと、それを支える地域連携のあり方などについて大変分かりやすく話をさせていただきました。



聴講の先生方からは、地域連携構想や地域連携パスなどについて質問が相次ぎました。横倉先生の講演の中で「地域医療連携のあり方としては、ピラミッド型ではなくフラットな連携体制が望ましい」との言葉が印象的でした。それぞれの医療機関の機能を発揮しあいながら、出産から健診・急性期・慢性期医療に至るまで、地域の要求に応えるべく、もっと積極的に医療連携を進めながら地域医療を充実させて行かなければならないと思います。

医師部長 堤 和則

政府管掌健康保険生活習慣病 予防健診の実施医療機関に指定

米の山病院は、4月1日に福岡社会保険事務局より政府管掌健康保険（政管健保）生活習慣病予防健診の実施医療機関として指定されました。これにより、政管健保の被保険者及び被扶養者である配偶者の方が基本的な健診と胃がん検診・大腸がん検診を受けることができます。費用は、国が総額の62%を負担し、本人負担が6843円

となります。対象年齢は40歳以上となりますが、希望される方は所定の申込書に記入し、事業所（会社）を通じ（財）社会保険健康事業財団福岡県支部への申し込みとなります。なお、市外・県外の方も利用可能です。

詳しくは米の山病院健康増進課へ（内線4851）

健康増進課長

斉田 隆幸



じん肺検診に64人 7割近くが有所見者

三池炭鉱が閉山して10年目の今年3月30日に「じん肺・アスベスト肺」自主健診が行われ64名の方が受診されました。この健診は、米の山病院をはじめ親仁会の各院所や建交労などが参加する「人間らしく働くためのネットワーク」が主催したもので、様々な粉塵作業に従事された労働者を救済しようと1990年5月から今回で21回目を迎えます。会場となった瓦町の社会福祉総合センターでは、問診や診察と同時に元炭鉱労働者やアスベスト



を取り扱った方からの悩みや相談も多数寄せられました。診察をした橋口医師（米の山病院院長）は「はじめての受診が6割を超え、有所見者は7割近くのものほるなど、労働による疾病がいまも続いており、こうした活動が益々重要です」と語り、今後とも「じん肺・アスベスト肺」自主健診を継続する必要性が強調されました。

喜ばれています 「いまやまの家」

〒837-0921 大牟田市大字今山1184-23 TEL0944-59-3606



2006年4月、介護保険制度によるサービスとして「小規模多機能型居宅介護」がスタートしました。

親仁会では、昨年9月に「小規模多機能ホームいまやまの家」を開設し、現在では13名の認知症要介護の方が利用されています。この介護はひとつの事業所で「通い」を中心に、「訪問」、「泊まり」のサービスを組み合わせることで、住みなれた自宅、通いなれた馴染みの場所、馴染みのスタッフから介護が受けられ、ご利用者やご家族にとって、24時間の安心感に繋がっています。可能な限り自宅で暮らしたいが、認知症の行動障害があるため、一人暮らしで在宅生活が困難な方、家族介護だけでは負担が大きく介護が困難な方等に、ご本人やご家族と一緒に介護の方法を考え、臨機応変に対応し在宅生活ができるよう支援をしています。

ホーム長 松嶋 明子

小規模多機能ホームいまやまの家の「基本理念」

*その人が、その人らしく、その人が望む暮らし方を支えます。
*住み慣れた地域、本人にとって生きる支えである家・家族との関係を失うことなく継続して生活できるように支援します。

おやつにいかが!

抹茶ロールケーキ



管理栄養士 垣田 あゆみ



材料 (26cm×38cm)

卵	4個	バター	20g
薄力粉	60g	牛乳	大さじ2
コーンスターチ	10g	生クリーム	100cc
抹茶	大さじ1と1/2	ゆで小豆	1/2～1缶
砂糖	70g	粉砂糖	適宜

作り方

- 薄力粉、コーンスターチ、抹茶を混ぜて2回ふるっておく。バターと牛乳は一緒に湯せんにかけてバターを溶かしておく。卵は卵黄と卵白に分けておく。
- ボールに卵白を入れて泡立てる。途中3回に分けて砂糖を加え、しっかりとしたメレンゲを作る。目安はメレンゲが固くて、ピンと角が立つ程度。(ハンドミキサーがあると便利。ここでしっかり泡立てておかないとふわふわのスポンジができない。)
- 卵黄を2)に1個ずつ加え、その都度、先ほどのメレンゲの固さを保つようにしっかり泡立てる。
- 3)に1)の粉類を振るいながら加えて、ゴムベラでさっくりと混ぜ合わせる。少量の生地を1)の湯せんにかけてバターと牛乳に少量加えなじませ再びボールに戻し、生地にしつやが出るまで混ぜ合わせる。
- オーブンを170～180℃に予熱しておく。紙を敷いた天板に生地を流し、平らにしたらオーブンで14分焼く。(温度、焼き時間は各家庭のオーブンで調整する。)焼きあがったらケーキクラの上に戻して紙をはがさず冷ます。
- 小豆クリームを作る。冷やした生クリームをしっかりと泡立てたら、ゆで小豆を加えてゴムベラであわせる。(甘さの調節は好みで。)
- 紙をはがし、スポンジの巻き終わりを斜めにカットする。小豆クリームを塗りくるくるっと巻いてラップに包み冷蔵庫で冷やして落ち着かせる。カットして粉砂糖でお化粧したらできあがり。



クイズ 頭の体操

正しいのは、aとbのどちらでしょう?

- 高齢化社会における老人介護に対するかいとうが示されていない。
a. 解答 b. 回答
- 観客席から、どっというかんせいがあがった。
a. 喚声 b. 歓声
- 来月開店に向けて、万全のたいせいでのぞみます。
a. 体制 b. 態勢
- 犯人はあんのじょうあいつだ。
a. 案の定 b. 案の条
- あの二人、いしんでんしんいいコンビだね。
a. 意心伝心 b. 以心伝心

No.20 (3月1日号) の答は「猿」でした。

(他のは全部読みが命令形だが、猿だけはそうではない)

正解者は2名でした。江口正裕様 (みやま市)、津波古八重子様 (大牟田市)

応募のしかた

答えを紙 (ハガキ) に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAX、メールでも可。〆切は2007年5月末日。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

読者の声

●「こめのやま」を友の会の皆さんに宅配して読んでもらっていますが、全体的にカラフルで楽しい催し物など満載されていて、会員さんと少しずつ親しくなっていくようです。
(勝立 女性)

おはがきでお寄せいただきありがとうございました。

米の山の私書箱

米の山病院の郵便番号が日本郵政公社より病院固有として付与されました。

これからは下記の郵便番号で届きます。

〒837-8501

米の山病院 ○○科 宛

皆様、どうぞご利用ください。